

戦略企画会議から

Progress Report from the Strategic Planning Committee

ONLINE SESSION for NEXT GENERATION 2023 のご報告

はじめに

2023年(令和5年)7月15日(土)に「眼科 ONLINE SESSION for NEXT GENERATION 2023」と題する WEB セミナーを開催しました。このセミナーは、初期研修医・医学生に眼科の重要性や先進性を啓発することを目的としており、2012年から2019年までは1泊2日の眼科キャンプとして、2021年度からは WEB で開催しています。今回は3回目の WEB 開催であり、渋谷のスタジオからライブ配信しました。

配信日時：

ライブ配信：2023年7月15日(土)
14：00～16：07 [Zoom]
再配信：2023年7月15日(土)
18：00～20：07 [YouTube]
再々配信：2023年7月22日(土)
20：00～22：07 [YouTube]

眼科力。日本の眼科医療をリードするドクターが語る 眼科の未来、眼科の魅力。 共催：日本眼科研修会 公益財団法人日本眼科学会 公益社団法人日本眼科医会

眼科は自らの人生を懸けるに値するテーマだ！
眼科

ONLINE SESSION FOR NEXT GENERATION 2023

zoom オンライン配信 2023.7.15(sat) 14:00-16:00 YouTube 再配信 18:00-20:00

Program

アメリカで人気ナンバーワン！
最も眼科医になっただけか？
大野 京子 (東京医科大学 眼科)

眼科の未来と AI
大庭 智輝 (東京大学 眼科)

視野障害と自動運転
藤松 志保 (京都市立医科大学 眼科)

光を取り戻す手術をしてみたいか？
飯井 義弘 (愛知医科大学 眼科)

眼科医の現場 - 地方眼科医たちのリアルな診療風景
新開 隆一郎 野々村 美保
(東京医科大学 眼科 眼科研修センター 眼科)

世界の研究室から
香月 優 (日本大学 眼科 / Doheny Eye Institute UCLA Stein Eye Institute)
志賀 由己浩 (東北大 眼科 / Montreal University Hospital Research Centre Postdoctoral Fellow)
和田 伊織 (九州大学 眼科 / Doheny Eye Institute UCLA)

オンライン Q&A
田中 寛 (東京医科大学 眼科)
竹濑 友佳子 (東京大学 眼科)

ファシリテーター
外間 千恵 (京都府立医科大学 眼科)

[無料] オンライン聴講参加者募集 (先着 200名) 応募期間：2023.4.17(mon) - 6.17(sat)
対象：初期研修医 (1・2年目) 医学部学生 (5・6年生) 聴講申込：オンラインにて

◆<https://ganka-online-session.net> ◆ネット検索→眼科 ONLINE SESSION 2023
◆日本眼科学会ウェブサイト ◆右記 QRcode より
お問い合わせ：眼科 ONLINE SESSION 実行委員会事務局 (フィールドワンプローション内) Info@ganka-online-session.net

図 1 ポスター。

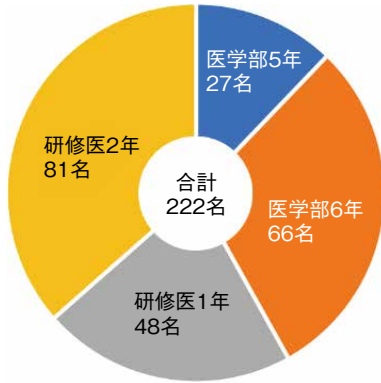


図 2 聴講者年次構成.

広報ならびに聴講申し込み

2023年3月初めより、ポスター/チラシ(図1)を全国の医療機関に配布し、学会ホームページ等で案内、4月の日本眼科学会総会の幕間に映像を流すなど、本セミナーの告知を行いました。最終的な聴講申し込み者は合計222名であり、内訳は医学部5年生が27名(12%)、6年生66名(30%)、研修医1年目48名(22%)、2年目81名(36%)、全体の58%が卒業臨床研修医でした(図2)。申込者の所属施設は全国各地に及んでおり、特段の偏りはありませんでした。開催が7月と昨年の5月よりも遅く、臨床研修医2年目はすでに進路を決めていたかもしれません。学生の参加数と比率は昨年より高くなり、夏休みに入った影響もあると思われました。

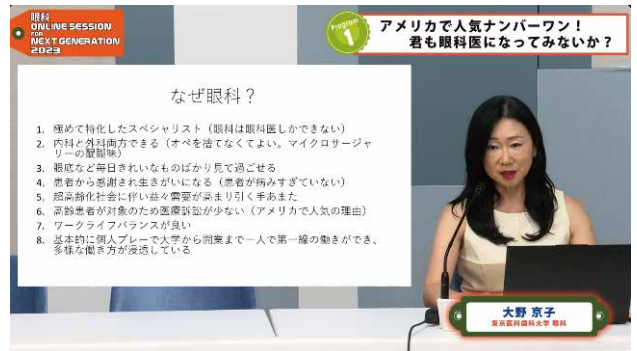


図 3 配信画像.



図 4 スタジオ風景.



図 5 眼科医の現場・病院訪問(京都府立医科大学附属北部医療センター).

プログラムおよび進行

総合司会は昨年と同様、プロナレーターの太田かおりさん、ナビゲーターを著者(外園)が務めました。まず大野京子先生、大鹿哲郎先生、國松志保先生が各

テーマを講演し(図3, 図4), 続いて京都府の北部、天橋立の近くにある北部医療センターで眼科医が働く様子を動画で見させていただきました(図5)。そのあとに、瓶井資弘先生による手術映像を解説付きで配信し



図 6 世界の研究室から。

帰国した若月 優先生はスタジオから、志賀由己浩先生と和田伊織先生にはそれぞれカナダ、アメリカから時差にもかかわらず講演いただきました。



図 7 生配信で質問に答える Q & A 担当の眼科医たち。

配信中の参加者からの質問に、折り返し回答しました。下段の左から順に、田中 寛先生、竹溪友佳子先生、新開陽一郎先生、野々村美保先生、若月 優先生、神前礼奈子先生。

表 アンケート結果および感想の一部

Q3-1. 眼科に興味を持つきっかけになったのは何ですか？						
	医学生		研修医		計	
肉親や知人の勧め	20	35.1%	10	26.3%	30	31.6%
クリニック	22	38.6%	12	31.6%	34	35.8%
講義	9	15.8%	4	10.5%	13	13.7%
初期研修	0	0.0%	11	28.9%	11	11.6%
その他	6	10.5%	1	2.6%	7	7.4%

Q3-4. 自分の進む科を選定する基準は何ですか？						
	医学生		研修医		計	
自分に向いているかどうか	27	47.4%	18	47.4%	45	47.4%
生活環境(プライベートの充実)	9	15.8%	10	26.3%	19	20.0%
学問としての興味	13	22.8%	5	13.2%	18	18.9%
仕事のやりがい	8	14.0%	4	10.5%	12	12.6%
収入が多いこと	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
先輩に憧れて	0	0.0%	1	2.6%	1	1.1%
親の意向に従うこと	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

Q4-2. 本セミナー全体の感想をお聞かせください。						
	医学生		研修医		計	
とても良かった	39	68.4%	29	76.3%	68	71.6%
良かった	17	29.8%	8	21.1%	25	26.3%
どちらとも言えない	1	1.8%	1	2.6%	2	2.1%
良くなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全く良くなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

Q4-4. 将来の進路として眼科を検討している人がいれば、次回本企画への参加を勧めますか？						
	医学生		研修医		計	
是非勧めたい	39	68.4%	25	65.8%	64	67.4%
勧めたい	16	28.1%	11	28.9%	27	28.4%
どちらとも言えない	2	3.5%	2	5.3%	4	4.2%
あまり勧めたくない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
勧めたくない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

Q 自由筆記のご意見・ご感想

- ・テンポがよく、終始飽きなかったです。
- ・眼科の診療や将来像、留学について詳しく知ることができました。
- ・たくさんの先生がさまざまな視点から眼科の魅力の説明をしてくださって、いろいろな新しい視点を知ることができました。
- ・配信時間があっという間に思うほど、とても興味深い講演ばかりで、眼科に進みたいとさらに思いました。次回も楽しみにしております。
- ・眼科医へのモチベーションが高まりました。
- ・大変お忙しい中、多くの先生方のお話を拝聴する機会をいただき、ありがとうございました。ぜひ今後もこのような企画を開催していただけますと幸いです。

ました。

「世界の研究室から」では留学中の3名の先生方より、それぞれアメリカ、カナダの留学生生活を動画も入れて紹介いただきました(図6)。

後半のセッション「オンラインQ & Aクロストーク」では田中 寛先生と竹溪友佳子先生の司会により、全講演者への質疑応答を行いました。田中先生と竹溪先生は日本眼科学会のYOC(Young Ophthalmologists Committee)をまとめている先生方であり、今回初めて本セッションの司会を担当いただきました。

スタジオからの配信と並行して、若手6名の先生方にはセミナー中に届く聴講者からの質問に待機し、折り返し回答を送っていただきました(図7)。

プログラム：

Program-1

アメリカで人気ナンバーワン！君も眼科医になってみないか？

大野 京子(東京医科歯科大学)

Program-2

眼科の未来とAI

大鹿 哲郎(筑波大学)

Program-3

視野障害と自動車運転

國松 志保(西葛西・井上眼科病院)

Program-4

眼科医の現場・病院訪問～地方眼科医たちのリアルな診察風景～

新開陽一郎、野々村美保(京都府立医科大学附属北部医療センター眼科)

Program-5

光を取り戻す手術をしてみないか？

瓶井 資弘(愛知医科大学)

Program-6

世界の研究室から

若月 優(日本大学/Doheny Eye Institute, UCLA)

志賀由己浩(東北大学/Montreal University Hospital Research Centre)

和田 伊織(九州大学/Doheny Eye Institute, UCLA)

Program-7

オンラインQ & Aクロストーク

～眼科は自らの人生を賭けるに値するテーマだ！～

司会：太田かおり(総合司会)

田中 寛(京都府立医科大学)(Program-7)

竹溪友佳子(東京大学)(Program-7)

ナビゲーター：外園 千恵(京都府立医科大学)/

Q & A オンライン回答：田中 寛/竹溪友佳子/新開陽一郎/野々村美保/若月 優/神前礼奈子

感想ならびに反響

番組配信中(約2時間)の最大視聴者数は関係者を含め154名、再配信(当日18時から)は104名、再々配信(7月22日20時から)は76名が視聴しました。

セミナー前には聴講申し込み者から、約70件の質問が寄せられていました。アンケート結果は好評であり、眼科診療や研究、あるいは留学についての情報を得て、満足いただけたように思われます(表)。

最後になりましたが、講演および司会の先生方、ロケと当日の質疑応答に協力いただいた京都府立医科大学附属北部医療センターの皆様、時差があるなかを生出演いただいた留学中の先生方、企画と運営にご協力いただいたフィールドワンプロモーションの皆様に感謝申し上げます。